



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.10

令和6年9月9日発行



読書は頭と心を育てます

朝晩だいぶ涼しくなり、日に日に秋らしくなってきました。

秋は読書に最適な季節。学校では、読書の楽しさに触れる授業、全校読書や読み聞かせ、はやま号の利用など、本に親しむ機会をたくさん作るようにしています。

調べてみると、子どもたちが読書することのメリットは、次のように整理できます。



保護者の方による読み聞かせ



全校読書

- **ことばの発達促進**…読書を通じて子どもは新しい言葉や表現を学びます。これにより語彙力が向上し、自分の考えや感情を効果的に表現する力が育まれます。
- **想像力と創造力の向上**…物語を読むことで、子どもは想像の世界を広げることができます。これにより、創造的な思考力が養われます。

- **共感力と感情の理解**…物語の登場人物の感情や行動を理解しようとする中で、他者への共感力が育まれ、人間関係を築くための感情的な知識が養われます。
- **集中力と注意力の向上**…読書は集中して内容を追う必要があるため、子どもの集中力や注意力を向上させるのに役立ちます。これらの力は他の学習や活動にも有益です。
- **論理的思考と問題解決能力の向上**…推理小説や謎解きは、論理的思考を養うのに役立ちます。物語の展開を理解し、結末を予測することで、問題解決能力が向上します。
- **学習意欲の向上**…読書を楽しむことで、子どもは自然に知識を探求する意欲を持ち、学習への積極的な姿勢が育まれます。
- **親子の絆を深める**…親子で一緒に本を読む時間は、親子のコミュニケーションを深め、安心感や愛着を強めます。また、親が読み聞かせをすることで、読書の楽しさを子どもに伝えることができます。
- **感情の調整とストレスの軽減**…読書は子どもが自分の感情を理解し、表現するのに役立つことがあります。ストーリーを通して感情的な体験をすることで、心のバランスを保ち、ストレスを軽減する効果もあります。



本の帯やポップを作る

袖崎小学校の子どもたちは、本を読むのが大好きです。きっと、ご家庭で、子どもたちが本に触れる機会を作ってくださいたり、おうちの方が読書を楽しまれていたりするのではないかと想像しています。読書は、子どもたちの知的、情緒的、社会的な成長にとって非常に重要な役割を果たします。読書の習慣を早期から身につけることは、子どもたちの生きる力の土台を作ってくれることでしょう。今後もますます本が好きになってくれるよう、工夫を重ねていきたいです。



毎回楽しみにしている「はやま号」